

## 【親子水入らず】……鈴木

先日、毎年の親子水入らずの温泉の旅に行ってきました。

母の八十歳の傘寿(さんじゅ)のお祝いで温泉旅行(福島のいわき温泉)に行ったのがきっかけで、11月の初めの土日に、

母と、姉・弟で毎年違う温泉に一泊するのが恒例になっております。今まで、会津磐梯とか涸沼、大洗などに足を運んできました。今年で6回目になりますが、もっと母が若いうちからやればよかったと少し後悔しておりますが、母が元気で歩けるまで何年でも続けられれば良いかなと思っています。

今年は、塩原温泉に行ってきました。塩原温泉郷とは、栃木県塩原地区内の、箒川沿いの谷間を中心に点在する11の温泉の総称とのこと。大網、福渡とかは知っていましたが11も温泉があるとは知らなくてびっくりしました。塩原ダムにかかる全長320mの「もみじ谷大吊橋」という、本州一の大吊り橋もあります。また、箒川を眼下に眺める「回顧(みかえり)の吊橋」、美しい塩原の溪谷に掛かる吊り橋で遊歩道にもなっております。回顧(みかえり)とは、その昔、塩原を後にした旅人達が、ここで振り返り塩原を名残惜しそうに振り替えるために、この名がついたと、言われているのだそうです。今回この二つの橋は、母の足を考えて断念しました。

旅館では、たくさんは飲めない姉弟でお酒を飲み交わし、いろいろな話が出来ました。弟が家を新築をした話とか、孫の話、姪っ子の結婚話、我が家の次女の失恋話、母の昔話などで夜は盛り上がりました。今回も楽しい親子水入らずの温泉旅行になりました。

帰りにアグリパル塩原(道の駅)に寄ったのですが、改修工事のため仮設店舗での営業となっております。工事終了は来年2月の予定とのことでした。

来年は、日立市の「鶴の岬温泉」(3か月前から予約



なのですが人気が高く予約取れないとのこと)にしようということで帰路につきました。

## アイスランドの旅

### ◇露天風呂とサウナ

アイスランドのホテルに3カ所宿泊しましたが、うち2カ所はバスタブがありませんでした。日本人にとって風呂抜きのホテルは考えられませんが、欧州では普通のことですので驚きません。しかし、1軒には露天風呂とサウナがありました。風呂好きサウナ好きの私は喜び勇んで万歳しましたが、サウナに入るのに部屋から軽装で更衣室(暖房なし)へ、そこで水着に変え(混浴)、寒さに震えながらサウナ室に駆け込みました。ところが温度が低く30分も入ったのにブルブル。浴室に飛び込みやっと生きた心地(38℃)になりました。でも、寒風の中ですから、首から上は寒いこと、この上なし。浴室退去後もパンツ姿で更衣室へ、シャワーを浴び、着替え、自室へ戻るまで駆け足の連続でした。日本では高齢者は更衣室の温度を高めを設定し、心筋梗塞など防ごうと言われてますが、全くそれとは反対、命がけでした。そんなわけで浴槽に入る酔狂者は他にいなかったようです。それも二日続けてですから、我ながらおかしな人です。メリットは天の川が広がる夜空を独り占めできたことでしょうか。



## ◇オーロラ



### ◆コキア2

イチヨウの紅葉もきれいになってきました。9月号で紹介したコキアも10月、11月と季節を経て一段と赤みを帯びてきました

